

現岩手中・高等学校の柔道部活動報告をしたい。柔道部員は高校生3年が5名、2年生7名、1年生5名の計17名で練習を行っている。中学の部員は居ない。昔は少ないと思われる人数であるが、県内の男子部員で考えると3番位の人数の多さと顧問から報告された。近年は団体5名の部員を確保できない、学校が増えてきているとのことであった。出身中学は様々で岩手地区の沼宮内中学2名・雫石中学1名、下閉伊地区の山田中学2名、紫波地区の矢巾北中学1名、盛岡地区の北陵中学1名・河南中学1名・城東中学2名・見前中学2名・大宮中学2名・見前南中学1名・岩手中学2名となっている。中学の時に実績がある生徒から県大会に出場した事のない生徒もたくさんいる。その中で中高一貫コース・特別進学・選抜コース・総合進学と勉学でも成果を上げられるように、また日々の練習も朝トレーニング・昼トレーニング・放課後練習・各種大会・練習試合・県外遠征と生徒は文武両道ということで休日なく努力をしている。生徒の努力の結果、新聞に載る機会も増え、県内大会の上位進出・東北大会出場してきている。

柔桜会の活動というと、総会・役員改選・懇親会を11月中に予定している。

母校柔道部や柔桜会の益々の発展を期待します。

大会結果

第66回高総体岩手県大会が5月30日～6月1日にかけて久慈市で行なわれた。団体戦は予選リーグは3校で1位のみ通過ということで初戦は3対2で花巻地区1位の花巻東高校に勝ち、気仙地区1位の大船渡東高校に4―1で勝ち、予選リーグ1位通過し、決勝トーナメントへ。一回戦で久慈東と対戦し1―4負けてしまい、ベスト13という結果であった。個人戦は盛岡地区予選を12名通過し、県大会に出場したが、60キロ級阿部直生(3年)と川村知之(3年)が初戦敗退、66キロ級後藤尚真(1年)が初戦敗退、73キロ級山本亮也(3年)と後藤雄輝(2年)が初戦敗退、坂井和樹(2年)が2回戦敗退、81キロ級佐藤将崇(1年)3回戦敗退でベスト16、阿部宏太(1年)が2回戦敗退、90キロ級小畑丞(1年)が2回戦敗退、佐藤龍也(2年)が3回戦敗退でベスト16、100キロ級超羽鳥真乃介が2回戦敗退でベスト16、中村悠登(2年)が準優勝で東北大会・ジュニア選手権の権利を得た。ジュニア選手権岩手県選考会6月7日が盛岡市で行われ、100キロ級超中村悠登(2年)が準優勝、東北高等学校柔道大会100キロ級超中村悠登(2年)が初戦敗退であった。

夏休みも終わり合宿や遠征の成果を出せる時が来て岩手県高等学校1・2年体重別柔道選手権大会が9月6日盛岡市で行なわれ結果は1年の部、73キロ級後藤尚真が3位、81キロ級阿部宏太が初戦敗退、佐藤将崇が3位、90キロ級小畑丞がベスト8、100級超羽鳥真乃介が準優勝であった。2年の部60キロ級北條勇斗が初戦敗退、吉谷地拓実が2回戦敗退、66キロ級坂井和樹がベスト8、73キロ級後藤雄輝が初戦敗退、武田和晃がベスト16、90キロ級佐藤龍也が3位、100キロ級超中村悠登が準優勝であった。今大会で準優勝2名、3位3名と良い結果であったが、入賞を7名以上と考え挑んだが悔しい結果であった。翌日久慈市で三船十段杯争奪少年柔道大会に出場し、団体戦はリーグ戦で2―1で久慈高校に勝ち、3―1で八戸工業高校に勝ち、1―4で今大会優勝校の盛岡中央負け、決勝に残れず3位という結果であった。9月21日に二戸市で北奥青少年柔道大会が行なわれ、本校は2チーム出場し、Aチームは5―0で江南義塾に勝ち、高総体負けた久慈東に3―2で勝ち、1―4で盛大附に負けてしまい、ベスト8という結果であった。Bチームは0―4で久慈負け、福岡工に1―3に負け、最後の試合は4―0で盛岡市立に勝ち、ベスト16という結果であったが、高総体ベスト8のチームが久慈、福岡工と対戦し、結果は大差ではあるが、内容は接戦であった。

新人戦近くなり盛岡地区順位決定戦が9月30日盛岡市で行なわれた。この大会は高総体の結果で地区に県大会の2位・3位・3位のシード枠で出場できるという大会で、本校は県3位枠決定戦に出場し、1回戦盛岡市立に4―1で勝ち、2回戦江南義塾に3―0で勝ち、決勝戦は不来方と対戦し3―2で勝ち、10月下旬に行なわれる県新人大会を1位盛岡中央、2位盛大附、3位盛岡南・岩手高校というシード権で戦う。

柔桜会事務局

岩手高等学校顧問

石川 喜寛